2023 環境報告書

ENVIRONMENTAL REPORT

～関連するＳＤＧｓへの取組みについて～

私たちは持続可能な開発目標
（SDGs）を支援しています。

株式会社 エネゲート

目　次

１．ごあいさつ

２．品質・環境方針

３．持続可能な地球環境の改善に向けた取組み
（１）環境活動推進体制
（２）ＩＳＯ１４００１認証取得
（３）ＳＤＧｓとの関連

４．主な環境行動指針の具体的展開
（１）ライフサイクルを視点に入れ、地球環境負荷の改善に資する製品の開発、資材の購入、有害化学物質の削減により環境リスクを低減します。
（２）省エネルギーの推進並びに再生可能エネルギーを有効利用します。
（３）4R(使用回避、省資源、再使用、再生利用)を推進し、廃棄物を削減します。
（４）環境保全活動を通じて地域社会に貢献します。

５．２０２３年度 環境の取組み

６．２０５０カーボンニュートラルを目指して

(参考)　さらなる環境貢献型企業を目指して

1. ごあいさつ

代表取締役社長
廣田　禎秀

スマート技術と柔軟な発想で、人と社会の未来に役立つモノづくりを

当社は、1914年の創業以来、電力量計、キュービクル、配電盤、配電自動化機器など、電力の安定供給を支える製品を提供し、電気事業の発展に貢献してまいりました。

また、脱炭素化社会の実現に寄与することをめざし、2006年に環境マネジメントシステムの国際規格ＩＳＯ１４００１の認証を取得し、それ以降、非化石エネルギー（原子力発電や太陽光発電等の再生可能エネルギー）の拡大に加え、電気自動車の普及による電気エネルギーへのシフトやスマートメータの本格導入に大きく貢献して参りました。
さらに、電力・ガスの小売全面自由化により、CO_2削減や省エネルギーの要求はますます高まっており、当社も今後は加速するデジタル化、スマート化の動きに柔軟に対応して参ります。
なかでも、創業以来のコア技術を発展させた独自の技術により、今後導入が予定されている第２世代スマートメータの商品化をはじめ、ＨＥＭＳ・ＢＥＭＳなどのエネルギーマネジメントシステムやＥＶ充電システムなど、脱炭素に貢献できる新たな商品開発を進めて行きます。また、ＶＰＰ（バーチャルパワープラント）やスマートグリッド実証設備など、今後のエネルギー事業を支える最新の技術開発にも積極的に取り組んでいきます。

加えて、創業以来の百年で培った技術と信頼を大切にするとともに、国際的な動きに合わせ、「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」、「気候変動に具体的な対策を」など『ＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）』に対する取組みも積極的に推進してまいります。

今後とも地球温暖化という２１世紀における最も大きな課題に対して、当社が果たすべき役割と責任を認識し、脱炭素社会に向けた環境負荷軽減への取組みを経営の最優先課題と位置づけ、地球環境の改善に貢献し続けていきたいと考えております。

2. 品質・環境方針

【 理 念 】

当社は、脱炭素社会の実現とお客さま満足度の向上をめざし、環境に配慮した製品の開発や電力の安定供給をサポートするとともに、品質と関連技術の向上に努め、持続可能な社会の発展に貢献します。

【行動指針】

エネルギーソリューションカンパニーとしてＳＤＧｓを推進し、「安全第一」、「お客さま第一」、「環境負荷低減」で品質・環境活動の継続的改善に努め、お客さまに選ばれる製品・サービス・メンテナンスを提供します。そのため、行動指針を次のとおり定め、品質・環境方針を社外へ公開するとともに、事業マネジメントと連携を強化し実行します。

１．法令・規制の順守はもとより、お客さまをはじめとする利害関係者の要求事項を満たすとともに、非常事態に備えた対応を強化し、品質・環境マネジメントシステムを継続的に改善します。
２．リスクおよび機会を考慮した品質・環境目標を定め、品質・環境活動の具体的展開を図り、その達成に努めます。
３．お客さま満足度の向上や環境影響を軽減するため、次の活動を推進します。

《品質》

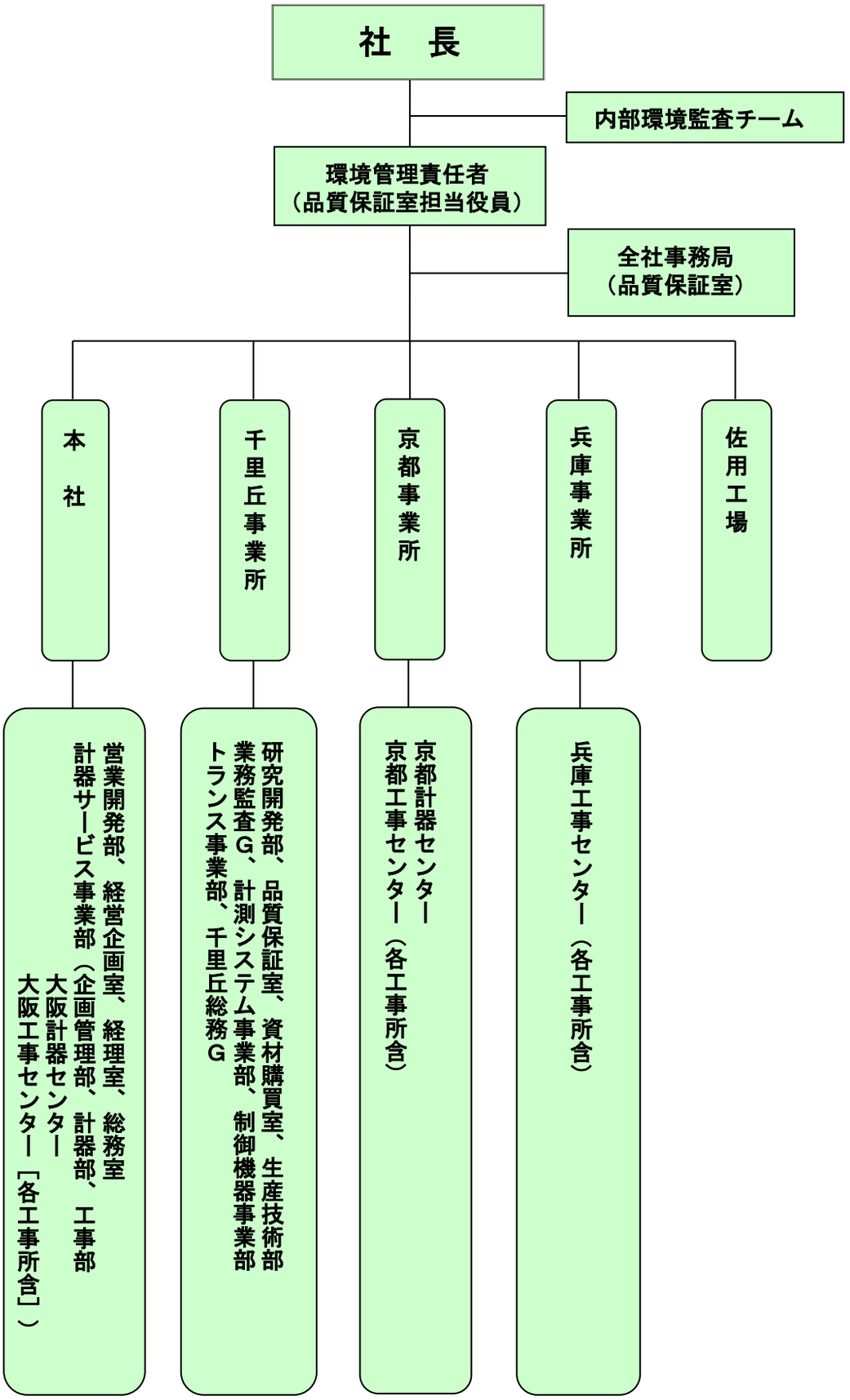
①お客さまの要望を継続的に収集し、迅速かつ丁寧に対応します。
②品質改善活動の活性化に努め、全従業員の品質意識の高揚と技術・技能の向上を図り、製品・サービスの品質水準を確保します。
③お客さまへの影響評価や、事業へのリスクマネジメントを行い、万一の不良発生時、迅速な対応と再発防止を図ります。

《環境》

①ライフサイクルを視点に入れ、地球環境負荷の改善に資する製品の開発、資材の購入、有害化学物質の削減により環境リスクを低減します。
②省エネルギーの推進並びに再生可能エネルギーを有効利用します。
③４Ｒ（使用回避、省資源、再使用、再生利用）を推進し、廃棄物を削減します。
④環境保全活動を通じて地域社会に貢献します。

3. 持続可能な地球環境の改善に向けた取組み

（１）環境活動推進体制



（２）ＩＳＯ１４００１認証取得

≪環境活動を支える環境マネジメントシステム≫

当社は、本社を含む全ての事業所および工場において、2006年8月28日にＩＳＯ１４００１を認証取得しました。

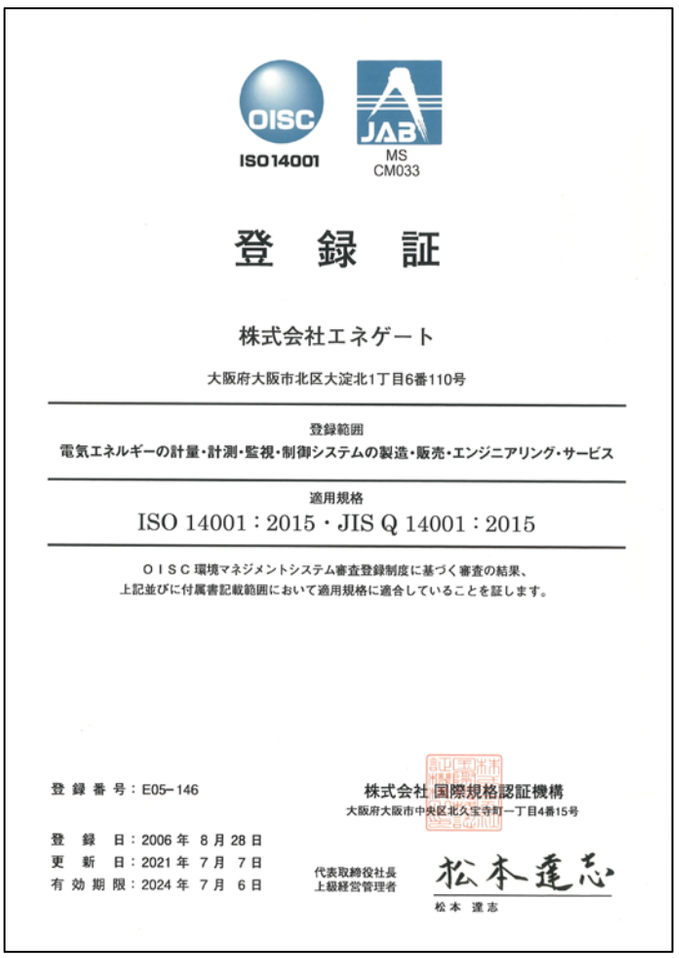
環境マネジメントの運用にあたり、事業プロセスとの統合を図るため、経営方針から「品質・環境方針」を設定しました。これら方針と整合したリスクと機会への取組み並びに環境目標達成に向けた活動を実施しています。

具体的には、環境関連法令の順守や環境目標については月次管理（実績把握と評価）しながら、達成に向けて全社一丸となって取組んでいます。

また、これらの活動結果については、環境管理責任者へ報告するとともに、マネジメントレビューで社長へ報告しています。レビューの結果、改善を要することがあれば、社長より改善指示が出され、速やかに改善処置を実施しています。

今後は、ＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）の国際的な潮流を踏まえつつ、ＰＤＣＡサイクルによる改善を進め、環境経営の強化に取り組んでいきます。

【登録番号：Ｅ０５－１４６】



OISC ISO14001　JAB MS CM033

登　録　証

株式会社エネゲート

大阪府大阪市北区大淀北1丁目6番110号

登録範囲

電気エネルギーの計量・計測・監視・制御システムの製造・販売・エンジニアリング・サービス

適用規格

ISO 14001：2015・JIS Q 14001：2015

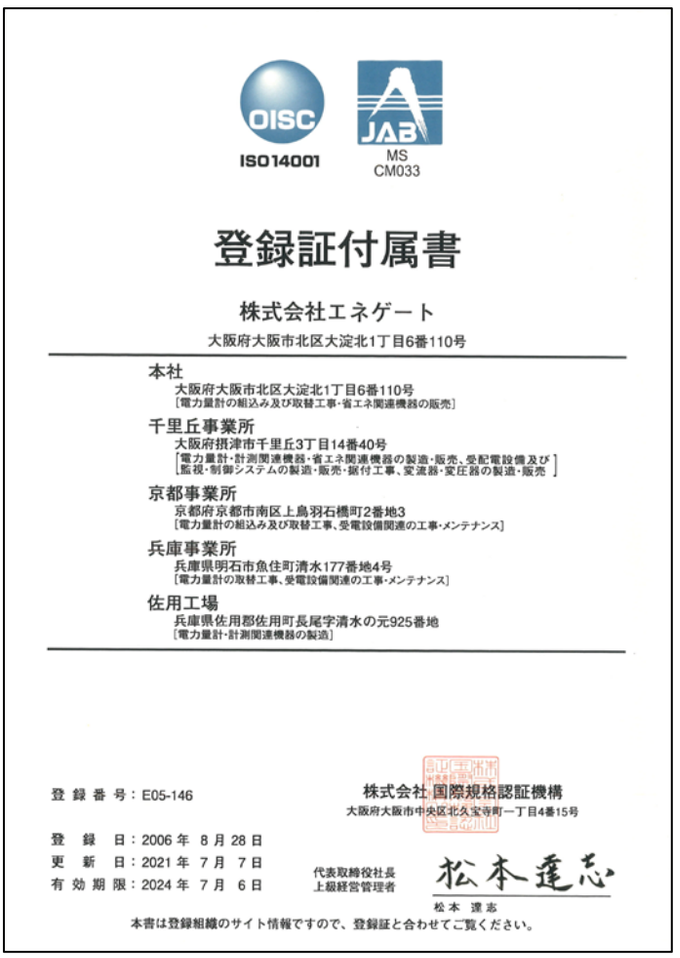
ＯＩＳＣ環境マネジメントシステム審査登録制度に基づく審査の結果、
上記並びに付属書記載範囲において適用規格に適合していることを証します。

登録番号：E05-146

登　録　日：2006 年 8 月 28 日
更　新　日：2021 年 7 月 7 日
有効期限：2024 年 7 月 6 日

株式会社 国際規格認証機構
大阪府大阪市中央区北久宝寺町一丁目4番15号

代表取締役社長
上級経営管理者　松本 達志



OISC ISO14001　JAB MS CM033

登録証付属書

株式会社エネゲート

大阪府大阪市北区大淀北1丁目6番110号

本社
大阪府大阪市北区大淀北1丁目6番110号
［電力量計の組込み及び取替工事・省エネ関連機器の販売］

千里丘事業所
大阪府摂津市千里丘3丁目14番40号
［電力量計・計測関連機器・省エネ関連機器の製造・販売、受配電設備及び監視・制御システムの製造・販売・据付工事、変流器・変圧器の製造・販売］

京都事業所
京都府京都市南区上鳥羽石橋町2番地3
［電力量計の組込み及び取替工事、受電設備関連の工事・メンテナンス］

兵庫事業所
兵庫県明石市魚住町清水177番地4号
［電力量計の取替工事、受電設備関連の工事・メンテナンス］

佐用工場
兵庫県佐用郡佐用町長尾字清水の元925番地
［電力量計・計測関連機器の製造］

登録番号：E05-146

登　録　日：2006 年 8 月 28 日
更　新　日：2021 年 7 月 7 日
有効期限：2024 年 7 月 6 日

株式会社 国際規格認証機構
大阪府大阪市中央区北久宝寺町一丁目4番15号

代表取締役社長
上級経営管理者　松本 達志

本書は登録組織のサイト情報ですので、登録証と合わせてご覧ください。

（３）ＳＤＧｓとの関連

エネゲートは持続可能な開発目標（ＳＤＧｓ）を支援しています。

環境に関するエネゲートの取組み

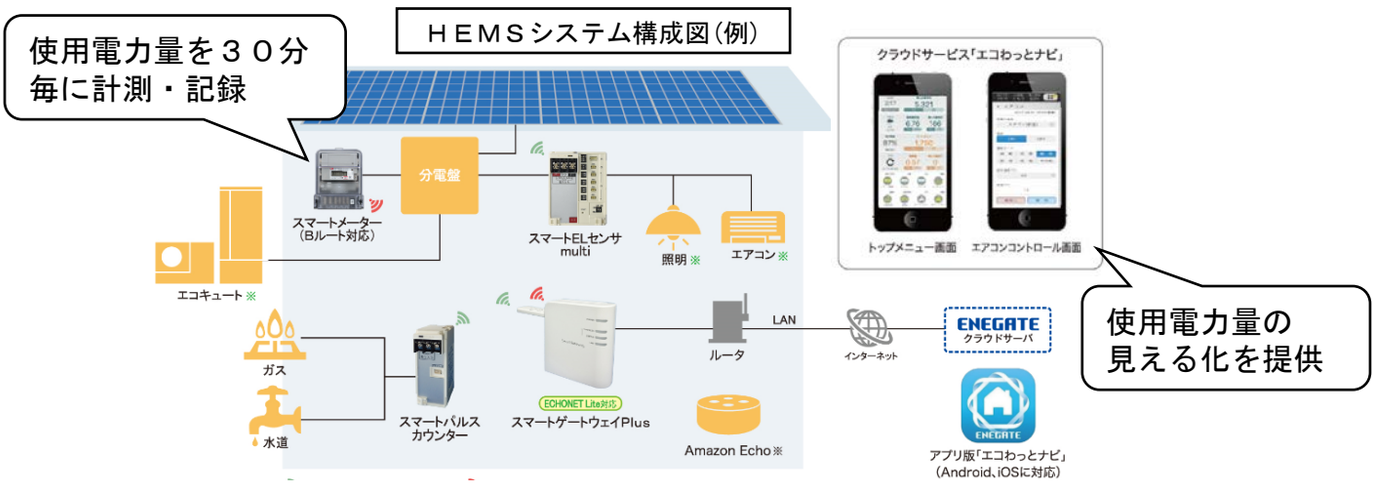
環境行動指針	取組み項目	関連するSDGs
ライフサイクルを視点に入れ、地球環境負荷の改善に資する製品の開発、資材の購入、有害化学物質の削減により環境リスクを低減します。	・環境に配慮した製品の開発 ・環境に配慮した製品の販売 ・環境に配慮した資材の購入	
省エネルギーの推進並びに再生可能エネルギーを有効利用します。	・消費電力量 ・ガソリン使用量 ・太陽光発電の推進	
4R(使用回避、省資源、再使用、再生利用)を推進し、廃棄物を削減します。	・廃棄物排出量 ・水の使用量 ・コピー用紙の購入量 ・一般廃棄物のリサイクル率向上	
環境保全活動を通じて地域社会に貢献します。	・会社周辺の清掃活動 ・敷地内緑化の推進 ・大阪・関西万博への貢献 ・高効率建屋の設計・建設	

4 主な環境行動指針の具体的展開

（１）ライフサイクルを視点に入れ、地球環境負荷の改善に資する製品の開発、資材の購入、有害化学物質の削減により環境リスクを低減します。

①環境に配慮した製品の開発

ＢＥＭＳ、ＭＥＭＳ、ＨＥＭＳといったビルやマンション、さらには一般家庭に至るまで、幅広いエネルギー利用の現場において、多彩なエネルギーマネジメントシステムを通じて、トータルソリューションを提供し、省エネやＣＯ$_2$削減を推進します。



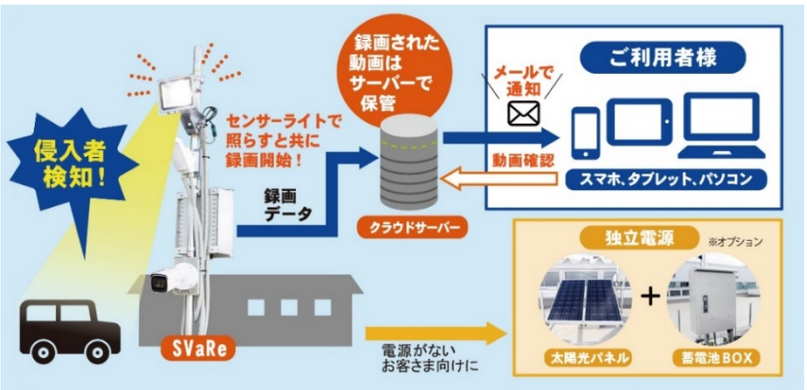
②環境に配慮した製品の販売

No.	システム	用途
1	エコQ電システム	EVへの充電
2	トータル節水システム	水道水の節水
3	盗難・不法投棄抑止カメラシステム	不法投棄の抑止

○スマートフォンやフェリカで簡単に操作できる電気自動車向け充電システム「エコＱ電システム」を開発･販売しています。

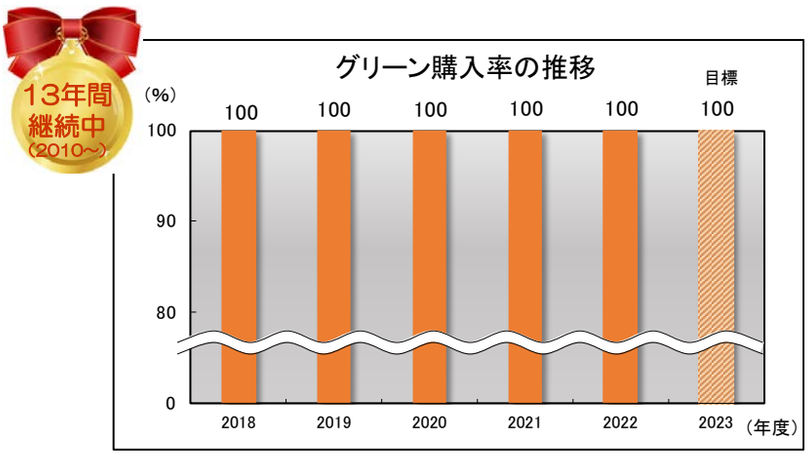
エコQ電システム

○不法投棄を検知し、鮮明な証拠を残すカメラシステム「SVaRe（スバレ）」を開発・販売しています。



③環境に配慮した資材の購入

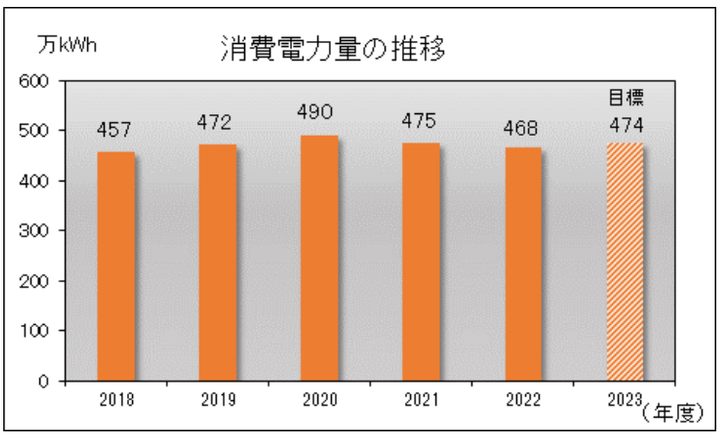
グリーン購入率100%を継続して
達成することができました。
また「環境報告書の冊子」には、
バナナペーパーを使用し、SDGs活動
を支援しています。（詳細は裏表紙）



（２）省エネルギーの推進並びに再生可能エネルギーを有効利用します。

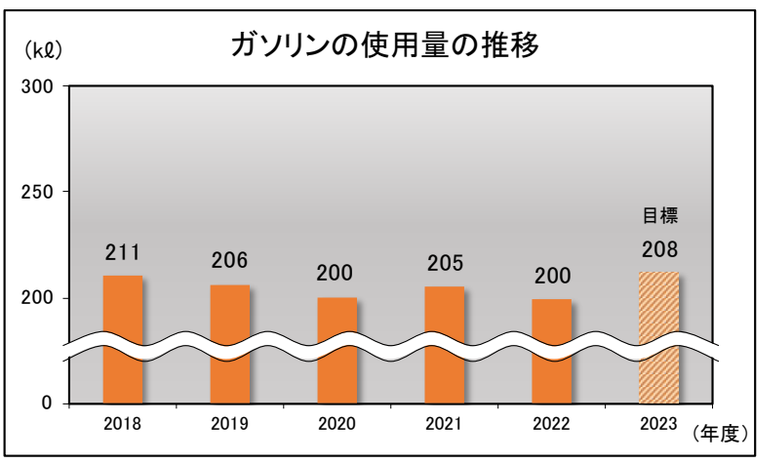
①消費電力量

クールビズ、ウォームビズの推進等により
消費電力量の削減に努めました。
2022年度は、コロナウイルス感染症拡大
防止対策（換気をしながらエアコン使用
等）を行ないながらも、468万kWhと削減
することができました。



②ガソリン使用量

エコドライブの推進やＥＶ車の利用に努め、2022年度の使用量は200kℓとなり
ました。今後もＥＶ車の導入拡大によりガソリン使用量の削減に努めます。



社有車の保有台数:280台

（台数）

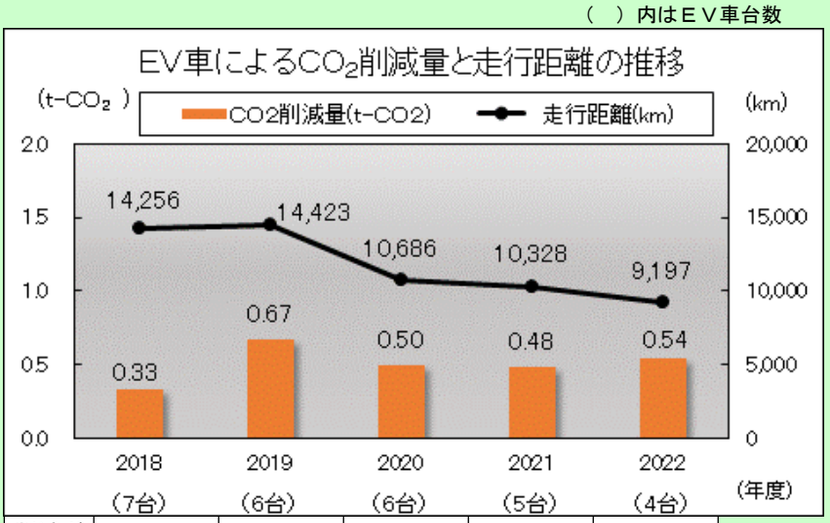
事業所	保有台数	ハイブリッド（再掲）	ＥＶ（再掲）
本社	146	(11)	(2)
千里丘	15	(5)	(2)
京都	54	(1)	(0)
兵庫	64	(1)	(0)
佐用	1	(1)	(0)
合計	280	(19)	(4)

（2023年3月末現在）

《ＥＶ車の利用》

給電中のEV車

（　）内はＥＶ車台数



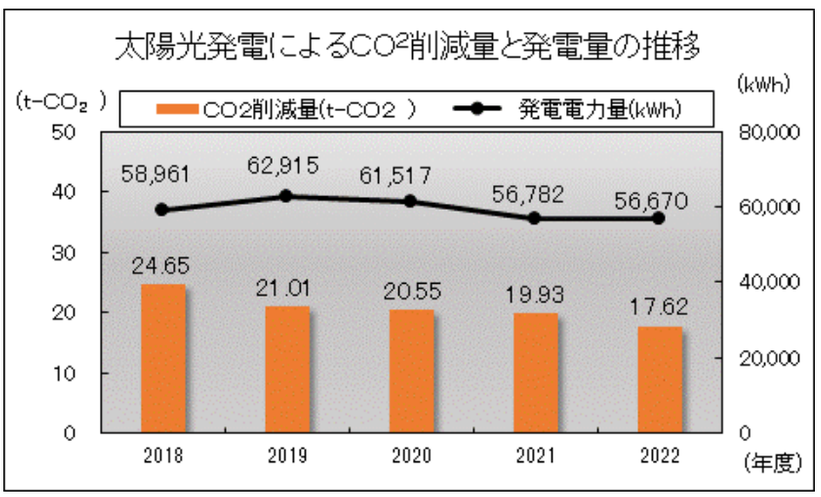
	2018	2019	2020	2021	2022
	（7台）	（6台）	（6台）	（5台）	（4台）
削減ガソリン量(ℓ)	650	663	474	500	472

③太陽光発電の推進

千里丘事業所、平野工事所、寝屋川工事所の屋上に太陽光発電パネルを設置し、省エネとＣＯ$_2$排出量削減に寄与しています。

〔太陽光発電パネル〕

千里丘事業所　スマートラボ屋上



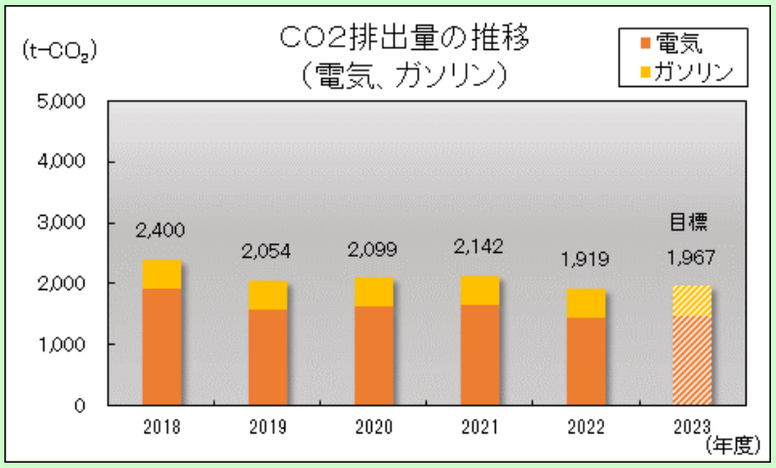
寝屋川工事所屋上

（2022年3月末時点）

事業所	設置数(基)[箇所数]	定格出力(kW)	面積(㎡)	１㎡当たりの平均発電電力量(kWh/㎡)
千里丘	8[3]	29	222.3	11.32
平野	1[1]	18	116.9	
寝屋川	1[1]	13	77.9	
合計	10[5]	60	417.1	―

《当社のＣＯ$_2$排出量の推移》

消費電力量の削減、ガソリン使用量の削減、太陽光発電の活用等の施策を実施することで、過去5年間の排出量は減少傾向で推移しています。



ＣＯ$_2$排出係数

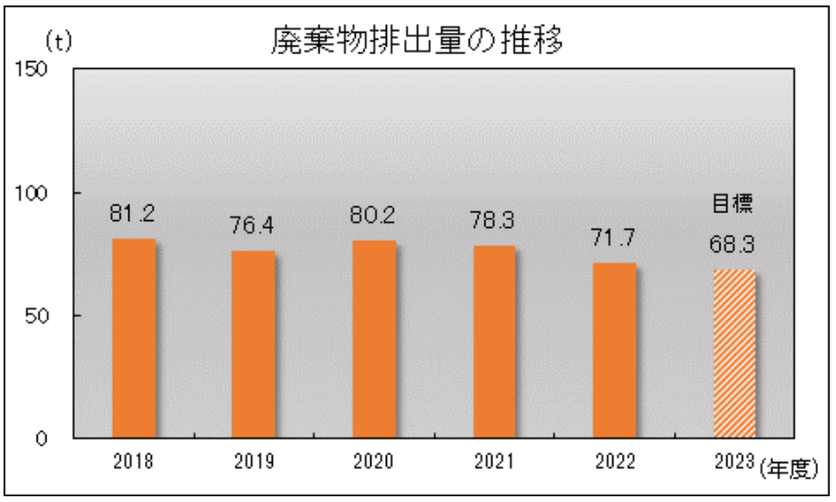
項目	単 位	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
電気	kg-CO_2/kWh	0.418	0.334	0.334	0.351	0.311
ｶﾞｿﾘﾝ	kg-CO_2/ℓ	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32

【出典】
電　　気：関西電力㈱
　　二酸化炭素排出係数（クレジット反映後）
ガソリン：地球温暖化対策の推進に関する法律施行規則

（３） ４R(使用回避、省資源、再使用、再生利用)を推進し、廃棄物を削減します。

①廃棄物排出量

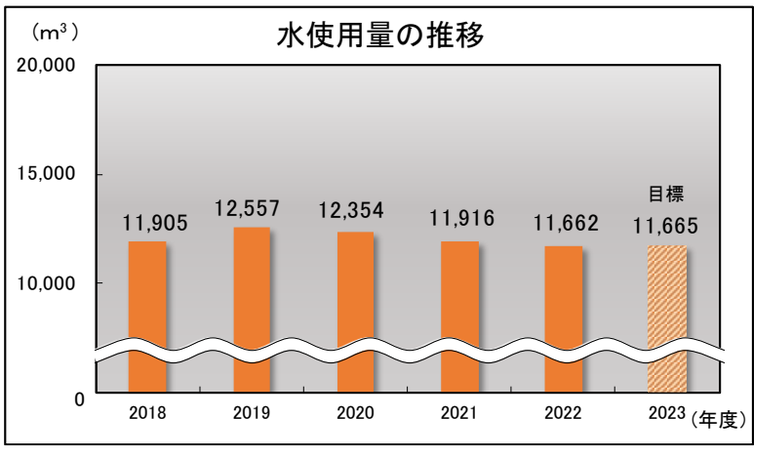
廃棄するプラスチックや金属屑のリサイクル化を推進して廃棄物削減に取組み、2022年度の排出量は71.7tと削減することができました。今後も４Ｒ活動の更なる推進や分別廃棄の徹底など削減の取組みを実践します。



ダンボールのリサイクル

②水の使用量

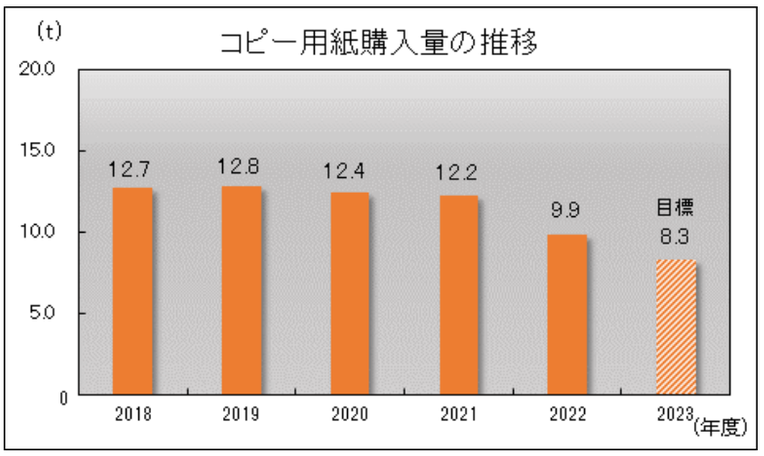
雨水の積極的な活用等の節水施策に取り組んだ結果、2022年度の使用量は11,662m³と低水準で推移しています。今後も、節水施策の継続的な取組みを実施します。



雨水の活用
（兵庫事業所）

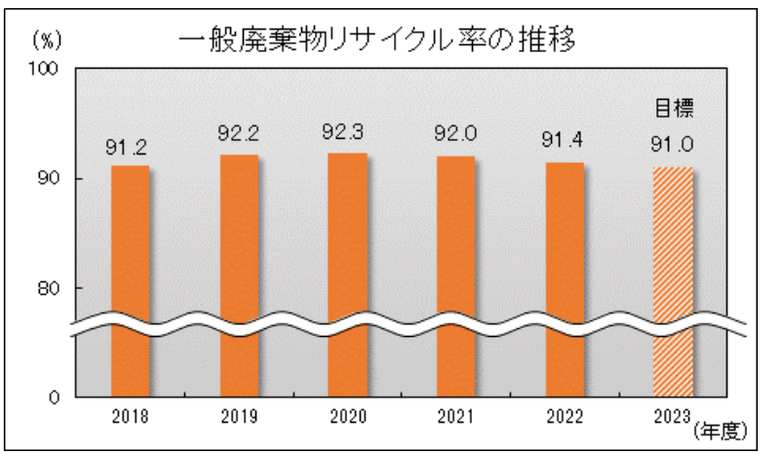
③コピー用紙の購入量

2022年度より「大胆なペーパーレス」に取り組み、2022年度購入量は9.9tと大幅に削減できました。2025年度までに50%削減（2021年度比）を目指します。



④一般廃棄物のリサイクル率向上

廃棄物置場の新設や分別ボックスの活用など、一般廃棄物の分別徹底によるリサイクル率の向上に取組み、2022年度のリサイクル率は91.4%と高水準で推移しています。



分別ボックス

（４）環境保全活動を通じて地域社会に貢献します。

①会社周辺の清掃活動

各事業所において、周辺の清掃など、地域の美化活動を継続的に実施しています。

本社周辺

千里丘事業所周辺

京都事業所周辺

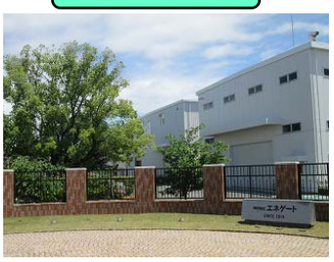
兵庫事業所周辺

佐用工場周辺

②敷地内緑化の推進

各事業所で緑化を推進し、CO_2の削減に努めています。

千里丘事業所



《自家菜園》

③2025年大阪・関西万博への貢献

スマートポール

大阪・関西万博の会場で次世代の電柱と言われるスマートポールの実証試験を４社で行っています。今後は、実証試験で得たAIの知見を導入し、地域社会での導入を目指し、電力設備の保全の高度化や効率化に寄与して参ります。

④高効率建屋の設計・建設

千里丘事業所では、新本館を設計・建設しました。以下の取組みにより、消費電力量の削減とCO_2排出量の削減を図っています。

【主な取組み】
・高効率空調機器　・LED照明
・夏場の日射を遮熱する長い庇デザイン　等

千里丘事業所　新本館（2022年6月竣工）

5. 2023年度 環境の取組み

環境行動指針	取組み項目	内容
ライフサイクルを視点に入れ、地球環境負荷の改善に資する製品の開発、資材の購入、有害化学物質の削減により環境リスクを低減します。	・環境に配慮した製品の開発	・RoHS指定適合品の選定 ・省電力化、小型化、軽量化の定着
	・環境に配慮した製品の販売	・自治体、環境団体等への営業活動の推進
	・環境に配慮した資材の購入	・グリーン購入の徹底
省エネルギーの推進並びに再生可能エネルギーを有効利用します。	・消費電力量の削減	・エネルギーマネジメントシステムの活用 ・冷暖房温度の適正管理
	・ガソリン使用量の削減	・HV車の導入 ・エコドライブ10の実践 ・EV車の積極的利用
	・太陽光発電の推進	・パネル増設の推進
4R(使用回避、省資源、再使用、再生利用)を推進し、廃棄物を削減します。	・廃棄物排出量の削減	・廃棄物のリサイクル化推進 ・分別廃棄の徹底 ・敷地内の落ち葉の肥料化
	・水の使用量の削減	・自動水栓の採用 ・雨水の活用
	・コピー用紙の購入量の削減	・会議室の無線LAN化 ・電子りん議の活用
	・一般廃棄物のリサイクル率向上	・リサイクル対象物の採用 ・分別廃棄の徹底
環境保全活動を通じて地域社会に貢献します。	・会社周辺の清掃活動	・定期的な実施
	・敷地内緑化の推進	・植樹の実施と管理
	・大阪・関西万博への貢献	・スマートポールの活用
	・高効率建屋の設計・建設	・高効率空調機器の利用

わが家でもできること

- 電気の削減
- 水道水の削減
- ガソリンの削減
- ごみの減量
- その他

⇒

- エアコンは適正温度で利用する
- 蛇口はこまめに閉める
- ふんわりアクセル「eスタート」
- 食べ残しをなくそう
- マイバッグ・マイボトルの利用

6. ２０５０カーボンニュートラルを目指して

この度、弊社は２０５０年カーボンニュートラルを目指す、第１ステップとして「ＳＤＧｓ２０３０ビジョン」を策定しました。

取組み ＼ 年度	2023～2025年度	2026～2030年度
SM（スマートメータ）の安定供給	第2世代SMへの切替	第2世代SMの安定供給
EMS、EV充電の普及促進	開発と普及促進	開発と更なる普及促進
EMS、EV充電、PV、蓄電池の設備構築と事業活用	千里丘事業所での実証設備構築	実証成果を製品へ反映
直流マイクログリッドの普及促進	開発	製品化と普及促進
太陽光発電設備の増設	千里丘（本館・東館）	その他の事業所への増設
社有車のEV化	2030年を目途にEV化を推進	
配送の効率化	製品や部品などの共同配送の推進	
プラスチック材料の4R	リサイクル推進と再資源化を目指した開発設計	
購入や納入時の通函化の推進	梱包用木材廃止と運搬用段ボールの再利用の推進	
ペーパーレス化	使用量50%削減	更なる使用量の削減

弊社の主力製品であるスマートメータの安定供給やエネルギーマネジメントシステム、ＥＶ充電システムの普及促進だけでなく、太陽光発電設備の増設や社有車のＥＶ化などを積極的に推進し、２０５０年カーボンニュートラルへの貢献を目指します。

なお、ＳＤＧｓの達成年度である２０３０年に合わせ活動を行いますが、長期にわたるため２０２５年での中間目標を定め、適宜見直しを行いながら進めていきます。

この先も、環境に優しい企業として、「環境負荷の少ない持続可能な社会の構築」を目指します。

さらなる環境貢献型企業を目指して

1 製品の使用により排出される CO_2 の削減

○製品の消費電力低減化検討
（電力量計、変圧器、変流器、
電源供給器、キュービクルなど）

2 製品材料・製造により排出される CO_2 の削減

○低CO_2材料の使用拡大
○材料使用量削減
○部品点数削減
○リサイクル材料、
バイオ材の使用拡大
○分別し易い製品の設計実施

3 工場より排出される CO_2 の削減

○エネルギー効率の高い機器の活用
・コンプレッサ ・高効率空調機
○社内電力見える化システムの活用
○効率的な生産ラインの構築
○太陽光発電の増設

4 地球環境改善へのさらなる取組

○雨水利用の拡大
○工場緑化の推進
○新たなECO技術の
積極的な採用
○EMS、EV 等
当社環境配慮型製品の普及拡大

株式会社 エネゲート

〒531-0077 大阪市北区大淀北 1-6-110
https://www.enegate.co.jp/
お問合せ先：千里丘事業所 品質保証室
TEL.06-6387-1237 FAX.06-6389-0577

この報告書にはバナナペーパーを使用しています。
※バナナペーパーとは、アフリカのザンビアで生産された
オーガニックコットンバナナの茎の繊維に、森林認証
パルプを加え、日本の和紙技術を用いて生産された、
人にも地球にも優しいフェアトレードペーパーです。

2023.07